











# 第56回 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典

## 新宗連青年会 国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)は8月14日午後6時から、国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑で第56回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」(8・14式典)を雨天のなか開催した。新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年引き続き規模を縮小し、オンラインでライブ配信を行った。同式典での主催者あいさつ、新宗連代表あいさつ、教団別礼拝、「平和へのメッセージ」全文を掲載し、式典の様相を写真で紹介する。

### 主催者あいさつ

### 式典の意義を引き継ぎ、次世代へ伝える

新宗連青年会委員長 宮本泰克



第56回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の開催にあたり、多くの皆さまにご観覧を賜って参りいただきありがとうございます。ここに、主催者を代表して厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の終息には、もうしばらく時間がかかりそうです。これまで新型コロナウイルス感染症の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、長期にわたってご対応下さっている医療従事者の皆さまに心より感謝申し上げます。

### 新宗連代表あいさつ

### 宗教協力という崇高な理念のもと前進

新宗連理事長 岡田光央



新宗連は世界平和をめざして「国際問題を武力で解決してはならない」という「絶対非戦」を掲げて活動を続けて参りました。先達の先生方こそ「再戦争をひき起ささないことこそ戦争犠牲者のみたまに対する私たちの大切な責任である」と強く訴えてこられたと、自由で平和な世の中を築きあげていくためには、宗教協力の推進が必要不可欠であるという確信をもち、戦争と対極にある「平和の祭典」がオンラインで、バラリンピックに他なりません。今夏、日本は新型コロナウイルス

第56回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の開催にあたり、新宗連を代表して、ごあいさつを申し上げます。はじめに、新型コロナウイルスにより亡くなった方々に心よりお悔やみを申し上げますと共に、感染された方々の一日も早い回復と事態の終息をお祈りいたします。



生花折鶴、供物で荘厳された六角堂

対して、私たちは文字通りの意味で自分事と捉える必要があり。日本社会の中で、必ずしもマジリティーとは言えない信仰を持つ私たちが、しかも若い世代で、本式典を継続してきた意義はそこにあります。私たちはこの式典に込められた願いとともに、その意義をしっかりと受け継ぎ、そして次の世代へと伝えていかなければなりません。平和な時代、社会を生きたくとも生きることができなかったすべての戦争犠牲者の御霊の前

にお誓いいたしましょう。コロナ禍の中、様々な意見が出ておりましたが、東京オリンピックが終了し、まもなくパラリンピックが始まります。本式典と並ぶ新宗連青年会の二大行事「共生社会」をテーマに、パラオアシートの杉内周作さんからオンラインで講演いただきました。杉内さんは、共生社会をつくらなければならない時代として、まず相手を受け入れて共通点を探ることが大切で、それは世界を広く、人生を豊かにすること

に繋がるとお話しされました。また、ご自身が障がいと向き合ってきた経験から、助けになったのは仲間たちがおり、在ったと語られました。私たちに、宗教宗派の違い

を超えて、「世界平和」を非戦の理念のもと、「すべてのいのちを尊ぶ世界」の実現に向け、協力する仲間たちがおります。今日あらためて心をひとつにして祈りを捧げたく存じます。皆さま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### <教団別礼拝>



荘厳された六角堂に青年らが真心からの祈りを捧げた

善隣教 善隣教は、毎年終戦記念日の前夜に、戦争で亡くなった方々へ思いを馳せ、平和を祈願する行事として継続してまいりました。教義や信条の違いを乗り越え、それぞれの礼拝様式に則り、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に集まり、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に集まり、御霊をはじめ、すべての戦争犠牲者に対する追悼と、今日ある



一部には「韓国原爆被害者救済街頭募金」で募った浄財が含まれています。街頭に立ち募金への協力を呼びかけることも、広島や長崎で被爆された韓国の方々も、今もなお苦しんでおられる事実を伝えていきます。

この「平和の翼」に私は今回参加しました。その中で、被爆者の方のお話を聞くために家庭訪問をさせていただくことがあります。釜山の一般的なご家庭にお邪魔し、広島弁でお話して下さるおばあさんにお会いしました。おばあさんもご家族も日本から来た私達を拒むことなく歓迎してくださり、そして被爆体験を話してくれました。同じ原爆という事実にも、戦争中の日本での過酷な労働や、終戦後韓国へ戻ったからの差別・偏見との戦いなど、祖父母たちが体験した苦しさとはまた違う苦しさがあることを知りました。

### 平和へのメッセージ

### 被爆者の言葉を私の言葉で伝える

善隣教広島教会 泉 愛



本日は新型コロナウイルスの影響により参列できなかったため、善隣教本庁聖堂御神前の前において、新宗連加盟教団の青年を代表して「平和へのメッセージ」を奏上させていただきます。明日は終戦76年になります。先の大戦で犠牲となられた御霊に対し、謹んで慰霊の誠を捧げ世界平和を祈願いたします。

また、昨年から続くコロナ禍の影響で、世界中で多くの尊い命が失われています。感染症でお亡くなりになられた御霊に哀悼の祈りを捧げます。さらに、今も闘病中の方、医療従事者の方、経済的に困窮されている方、孤独に耐えて生きている方々、一日も早く平穏な生活を送られることを祈ります。

「8・14式典」の折鶴お焚き上げ 8月21日 埼玉・解脱会御霊地 た折鶴のお焚き上げが行われた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、折鶴のお焚き上げは十分に行えなかったため、解脱会青年本部会では21日午前中、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において独自に折鶴を奉納し、慰霊祭を斎行。その折鶴とともにお焚き上げが行われた。



8月21日午後3時から、埼玉県北本市の解脱会御霊地で、第56回「8・14式典」に奉納された折鶴をお焚き上げた(写真)。